

福島事故検証チームの研究を補助して頂けるグループを募集します

2014年7月1日
京都大学原子炉実験所
福島事故検証チーム

京都大学原子炉実験所では、原子力安全基盤科学研究プロジェクトを推進しています。この中の福島事故検証チームでは、昨年引き続き現地での調査活動を支援して頂ける学生グループを募集します。

1) 調査内容

「KURAMA-IIによる路線バスでの線量率と路線周辺の土地利用等の関係」

福島市内のバス路線道路周辺の線量率をNaIサーベイメータで測定、同時に状況を調べます。これらとバス搭載KURAMA-IIで測定された線量率との関係を調べます。

「徒歩サーベイによるホットスポット探索」

福島事故検証チームで開発した歩行型KURAMA-IIを用いたホットスポット探索技術と従来のサーベイメータを用いたホットスポット探索との性能比較をします。

2) 募集人員

所属大学の教員に引率された学部学生ないし大学院生のグループで、1グループあたり教員を含め5名以内（調査地点移動にレンタカー利用の可能性があるため）。最大3グループ程度まで受け入れを想定しています（諸般の事情で変更する可能性あり）。なお、参加する学生は放射線に関する初歩的な知識や、サーベイメータの基本的な操作の経験があることが望ましいです。

3) 調査期間

2014年8月下旬の2泊3日～3泊4日を予定しています。最後にグループごとで調査結果のプレゼンテーションを行ってまいります。

4) 費用

引率教員および学生の福島市への往復交通費・滞在費・現地調査活動のための諸経費（レンタカー代など）については、京都大学が規定に基づき支給します。機材についても基本的に京大側で準備します。

5) 申し込み方法

引率教員が代表となり、連絡先を明記して参加希望の旨を

京都大学 原子炉実験所 谷垣 (tanigaki@rri.kyoto-u.ac.jp)

へお知らせ下さい。参加グループの詳細を伺った上で参加の可否をお知らせします。申し込みの締め切りは2014年7月25日です。

6) その他

具体的な日程、内容など実施に関する詳細は引率教員と福島事故検証チームの間で調整・決定することとします。

この研究補助にあたり、活動中の学生の安全確保については引率教員が責任を持つこと、また事故や補償についても引率教員および学生の所属する大学側で対応する事を承諾いただくものとします。移動中の交通事故など万一の場合に備え、傷害保険等に入る事を強く勧めます。